建築特化型AIプラットホーム

既に300ユーザー超え

安心計画

安心計画（福岡市、高田政和社長）は、建築実務特化型生成AIプラットホーム「タノモシカ」を春から発売している。建築用途に合う最適なAIを自動で選定し、標準搭載された業務向けプロンプトによって営業・設計・広報・事務まで全部署で共通活用を可能にした。メニューを選ぶだけでAIが意図をくみ取って目的に応じた最適な答えを導き出す。これまでに工務店・ハウスメーカーなど300ユーザーを超えている。

ChatGPT、Geminiを用途に応じて使い分けができ、営業教育を仕組み化するなど商談解析モードと音声ロープレモードがあるのが特徴。商談解析モードは商談音声をAIが文字に起こし、解析して評価と結果を上司へ自動でメール共有する。音声ロープレモードはAIとチャット形式で商談練習ができ、会話終了後にはAIが採点し、良かった点と改善点を具体的にフィードバック。若手の育成や重要商談前の予行演習ができ、改善アドバイスを受けられる。人材育成などの教育コストを掛けられない小規模事業者から高い評価を受けている。

画像編集モードでは目的に合わせて生成タイプの選択が可能。フォトリアルな外観・内観パースから情緒ある手描き風、敷地写真との合成、さらには細部を調整するカスタマイズまでボタン一つで即座に生成できる。

建築特化AIタノモシカ実演セミナーの個別相談会ではツール選びや組み合わせ方についての相談が目立った。他のサービスとしては3D住宅CAD「Walk in home」、AIプラン検索ツール「マイホームロボ」などがある。これまでのサービスで培った顧客やウェブ媒体で認知度を上げる活動を行っている。

料金プランはスターター（パース生成80枚相当か音声ロープレ10回相当）月額1万円、アドバンス（同320枚相当か同40回相当）月額3万円、アルティメット（同600枚相当か同80回相当）5万円。導入に際してはデジタル化・AI導入補助金（最大450万円）の活用が期待できるとして営業を展開している。